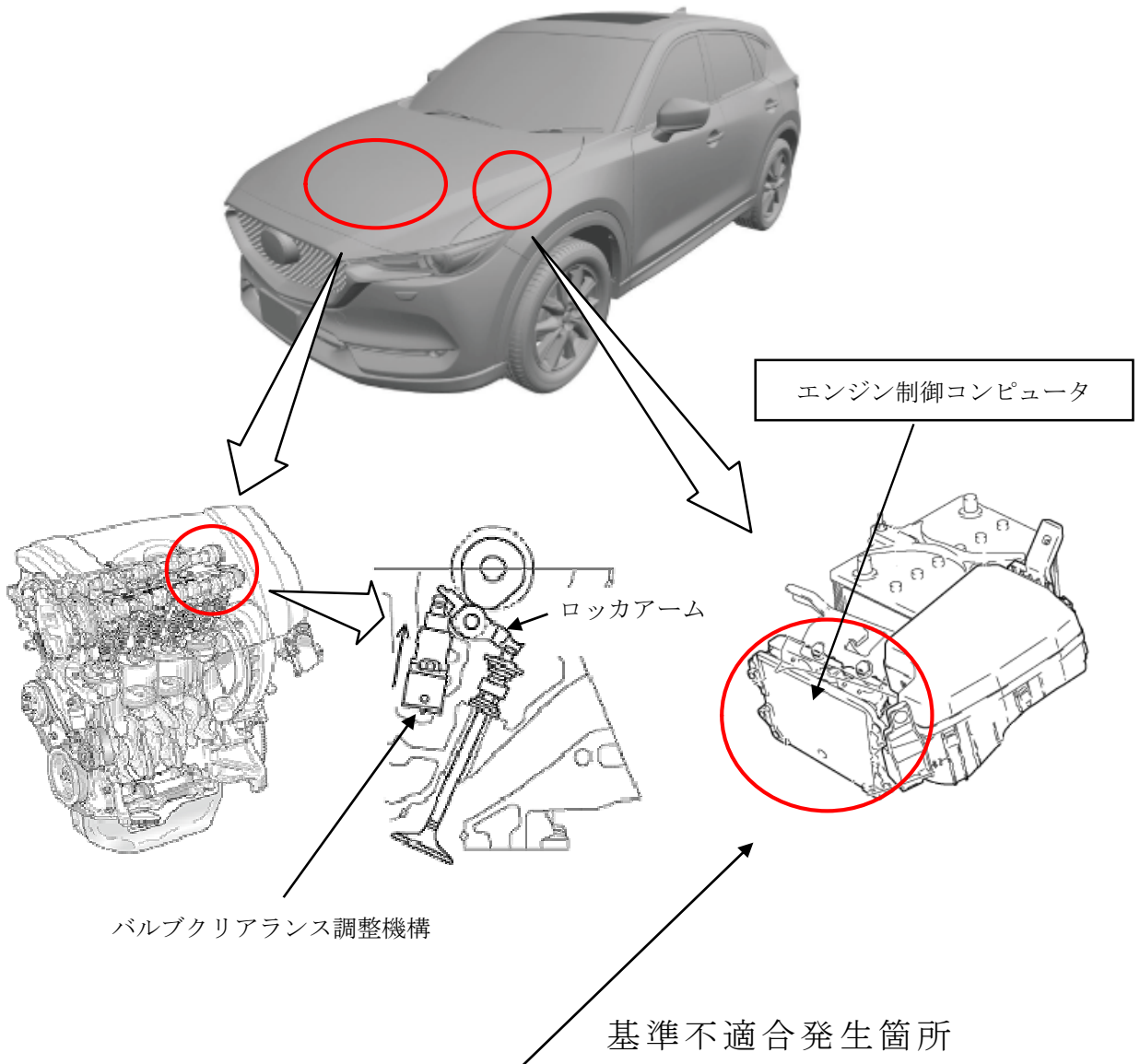


改善箇所説明図



エンジン制御コンピュータにおいて、気筒休止制御プログラムが不適切なため、気筒休止から復帰する際、バルブクリアランス調整機構が誤作動することがある。そのため、ロッカアームが脱落して周辺部品と干渉し、エンジン失火による出力不足が発生して、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御コンピュータの気筒休止制御プログラムを対策プログラムに修正する。

識別：左リヤ・ドア・ロア・ヒンジ取付けボルト(下側)の頭に白ペンを塗布する。

注) は、対策プログラムに修正する部品を示す。